



プレスリリース

上田市

令和8年1月26日

報道機関 各位

上田市スマートシティ化推進パートナー交流会を 2月4日（水） 市役所本庁舎で開催します

暮らしを支える様々な分野で新技術やデジタルを活用して上田市のスマートシティ化を推進することを目的に「上田市スマートシティ化推進パートナー」として登録いただいている企業・団体の皆様同士の連携促進の場として、本交流会を開催します。

については、当日の取材をお願いいたします。

■日時 令和8年2月4日（水）13:30～16:00（開場／受付 13:00～）

■会場 上田市役所本庁舎 5階大会議室

■内容 基調講演、事例発表、交流会、上田市市民ICT推進センター見学会

・基調講演

講師 井戸 芳之 氏 一般財団法人上田市地域振興事業団
上田市市民ICT推進センター 主任
(旧上田市マルチメディア情報センター 前事業所長)

テーマ 「デジタルアーカイブ活用に向けた公民連携の取組について」

・事例発表

発表者 株式会社城南製作所 様

テーマ 「追従運搬車「Folloone」による農業のスマート化について」

・交流会

名刺交換会、ブース展示（映像展示、パネル展示、リーフレット設置等）

※追従運搬車「Folloone」試作機の展示・デモンストレーションも予定

・上田市市民ICT推進センター見学会

デジタル工房に設置の最新機器（3Dプリンター等）のデモンストレーション等

■参加者 上田市スマートシティ化推進パートナーの登録企業・団体、関係職員等

※予定人数60名程度

■その他 詳細は、以下のページに記載

・上田市スマートシティ化推進パートナー制度について

<https://www.cityUEDA.nagano.jp/soshiki/u-research/44897.html>

・i プラザうえだ（上田市市民ICT推進センター）デジタル工房

<https://www.cityUEDA.nagano.jp/site/ipu/122009.html>

上田市は「SDGs 未来都市」です。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

本件に関する問合せ先
上田市政策企画部 DX 推進課
課長 市村
係長 片山 主査 松尾
TEL 0268-23-8246

“手が届く”自動追従運搬車

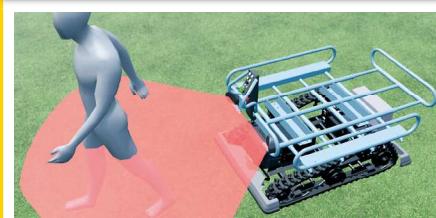
Folloone フォローン

収穫の負担
約1/2



誰でも簡単かつ安全に。
現場で使えるスマート農機を実現する3つの特徴

1 操作不要で荷台が手元に
自動追従

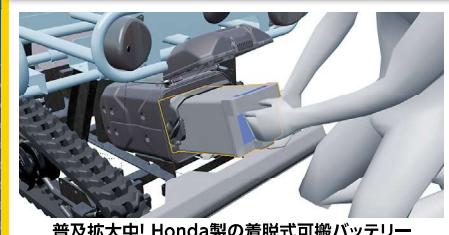


人を検知し、後方を前進・旋回・停止

2 ケガや事故を未然に防ぐ
3重の安全性



3 充電カンタン・作業を止まない
交換式バッテリー



年中使える
フォローンは
こんな作業に
オススメ



収穫した農産物を手元に置くだけ



手散布をより手軽に



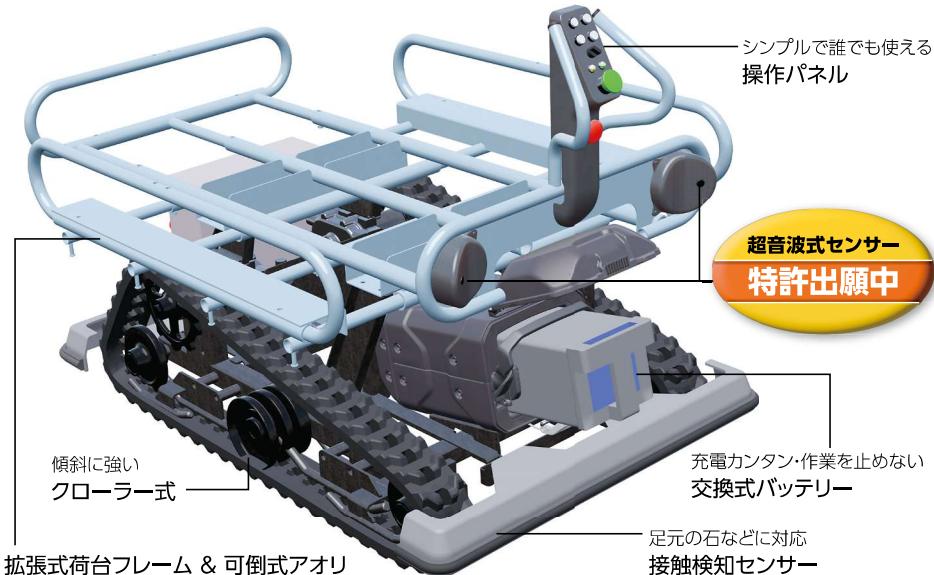
重たい肥料の運搬もおまかせ



株式会社 城南製造所
Johnan Manufacturing Inc.

Folloone フォローン

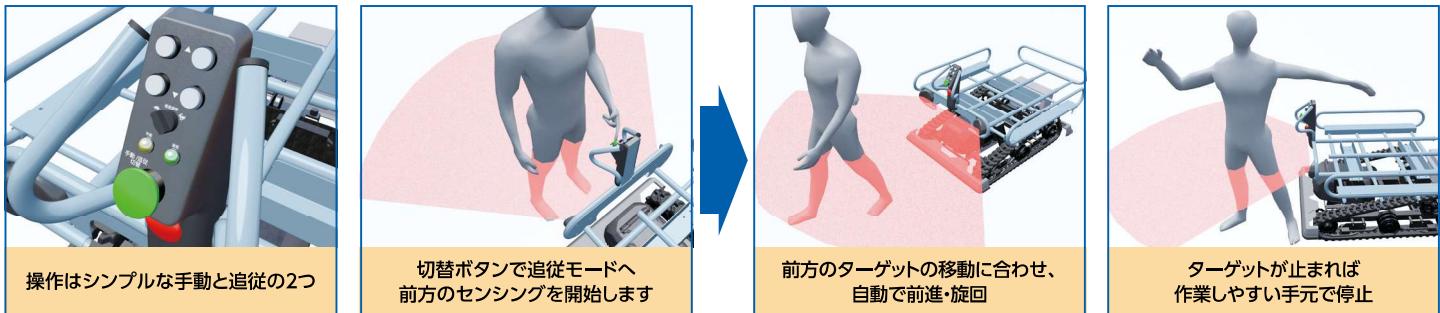
フォローン 製品仕様



製品仕様 (案)	
全長 × 全幅 × 全高	1,300×870×960mm 1,510×970×960mm (荷台拡大時)
荷台内寸法	1,050×730mm 1,350×960mm (荷台拡大時)
車両重量	170kg
走行速度	0~6km/h
駆動方式	電動クローラ (400Wサーボモータ×2)
バッテリー電力量	1,314Wh
充電時間	約6h
連続走行時間	約2h ※80kg積載・未舗装路・3.5km/hの場合
最大積載量	150kg
登坂能力	30度
最低地上高	90mm
防水性能	IPX3相当 (降雨内でも使用可能)
追従仕様	
センシング方式	超音波センサー
追従距離	~200cm

使い方

〈操作方法〉



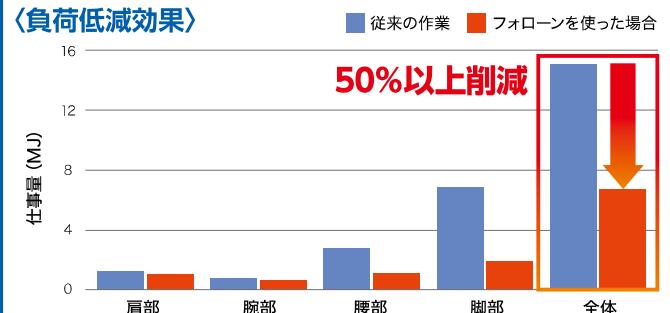
※センシング領域を赤色で示しています。実際には見えません。

〈運用イメージ〉 ぶどう収穫



重量物の持ち運びを伴う作業時に、常に運搬車が追従することで、人の身体的負荷や所要時間の削減が可能。

〈負荷低減効果〉



実験室内における模擬環境での検証結果。ぶどうの房の収穫作業を模擬した動作を、光学式モーションキャプチャと床反力計で計測し、動作解析ソフトウェアにて各関節における仕事量を解析。図は、一連の動作における全身の総仕事量(絶対仕事)として算出したもの。

※長野県工業技術総合センターとの共同測定結果

下記窓口までご連絡ください



株式会社 城南製作所

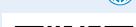
Johnan Manufacturing Inc.

事業企画部 事業推進二課 tech-support@johnan-seisakusho.co.jp

0268-71-5234

最新情報はコチラから

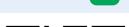
WEBサイト johnan-seisakusho.co.jp



公式X [X](https://twitter.com/johnan_seisakusho)



公式LINE [LINE](https://lin.ee/...)



アイデアを
カタチに！



iプラザうえだ デジタル工房

最新の機器を使っていろいろなものが作れます



3Dプリンター



布プリンター



レーザー加工機



大判プリンター

3Dプリンター

3Dデータを使って、プラスチックの立体を作れます。いくつかの色を切り替えて出すことができます。

布プリンター

布に直接カラー印刷ができます。Tシャツやトートバッグなどいろいろなものに印刷ができます。

レーザー加工機

木や革などにレーザーで模様や絵を描けます。木や紙やアクリル板などを切ることもできます。

大判プリンター

幅103cmのロール紙にカラー印刷ができます。B0版(103cm×145.6cm)のポスターが印刷できます。

利用方法

使う前には一度「機器利用説明会」に参加してください。

開催日はホームページを確認し、前日までに電話でお申ください。

①利用料金: 350円／時間
(学生は100円／時間)

②印刷代: **3D** フィラメント10円／g
布 50円／印刷1回
大判 1,000円／m

利用方法、料金などの詳しいことは
ホームページをご覧ください

デジタル工房
ホームページ

